

## 新今宮駅(JR環状線)③

## これぞ浪花の下町! 鶴見橋商店街へ

花園町駅(地下鉄四つ橋線) 萩ノ茶屋駅(南海高野線) 今池駅(阪堺電車阪堺線)  
動物園前駅(地下鉄御堂筋線・堺筋線) 津守駅(南海高野線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その2 No.087



## JR新今宮駅

新今宮の西改札口から出て、南海本線のガード下を南下していくと、すぐ南海萩ノ茶屋駅にたどり着きます。萩ノ茶屋という駅名は、かつてこのあたりの住吉街道沿いに「萩の茶屋」と呼ばれる茶屋があったことに由来します。また、この茶屋は広田神社(今戎神社の北側)の門前に、かつて存在した「萩の茶屋」の支店でした。

## ① 鶴見橋商店街

大日本紡績の津守工場の通勤路として、大正5年(1916)ころより商店が立ち並び始めたのが始まりです。昭和4年(1929)に鶴見橋通総連合会が結成され、戦前にかけての賑わいは天神橋、心齋橋と並び称されるほどでした。戦後、産業構造が変化(皮革産業の衰退など)して津守工場が閉鎖されると、かつての賑わいは失われました。



## ② 鈴成座

● もとは「鶴見グラウンド」という  
▼ 大衆演劇場でしたが、平成11年

● (1999)に経営者が変わり、現在の「鈴成座」に改名しました。  
● 現在では平日でも満員御礼が出るほどの人出があります。鶴見橋商店街内の喫茶店などでは、  
● 前売りチケットが販売されています。

## ③ 鶴見橋クラブ

● 昭和52年(1977)に囲碁将棋クラブとして誕生。戦前は青果店、その後、書店になり、現在に至っています。席料は1日400円。  
● 1日中ゆっくりと囲碁・将棋が楽しめます。

## ④ 鶴見橋ダウンタウンホテル

● 平成20年(2008)、もとは歯科医院の建物をリノベーションしたゲストハウスです。近年、西成界隈はゲストハウスが増え、若者や海外のバックパッカーに人気です。

## ⑤ 十三間堀川跡

▼ 元禄11年(1698)に河村瑞賢によ

● って開削されました。木津川の水を受けて南へ流れていましたが、宝永元年(1704)の大和川付け替えて大和川まで延長。流れ込む土砂の堆積とともに、川床が上がり、逆流するようになりました。明治初期は、堤防に松並木があり、農業用水路として利用され、大阪から楼船を浮かべ、住吉に遊ぶ航路になりました。昭和45年(1970)、阪神高速道路15号堺線と付属道路の敷地となり、ほとんどが埋め立てられ、現在は住之江区内に一部残っています。

## ⑥ 鶴見橋跡

● 十三間堀川に大日本紡績株式会社の費用負担で架けられた橋です。紡績工場ができる前、工場付近は湿地帯で、冬になると鶴が到来し、その様子を窺うことができたので、地元の人々が「鶴見橋」と名づけたと伝えられています。

## 南海津守駅

